

地方創生で活気のある町に 議会だより

かつうら

No. 99

2024.8.30



2. 第99号特別企画

緊急取材！9の付く人 この指とまれ

4. マラソン議会 (6月～7月)

6. 一般質問

12. 町民キャッチボール / 議長コラム 勝浦想生

13. ぶっちゃけどうなの？ 広報モニター会議

14. 一地域のホシ ガンバル人ー かつうらガンバロウズ

『武市 和彦 たけいち かずひこ いつまでも健康に！居場所づくりに取り組む移住者』

表紙探訪

議会広報
第99号
特別企画

緊急取材!

9

の付く人
この指どきめ

議会広報第99号の特別企画は、99号にちなんで各年代の「9」が付く年齢の町民の方にご協力いただき、これまでの10年の振り返りとこの先の10年の抱負を語っていただきました。

藤木 友菜 (星谷)

お姉ちゃんが、野球をしているのが楽しそうだったので、私も生比奈クラブに入りました。

これからも、お姉ちゃんと一緒にがんばります。

9歳 次は10代

岩佐 美咲 (生名)

プロ野球の試合を見に行けた事が一番嬉しかったです。

これをきっかけに、一生懸命野球の練習をしてチーム(生比奈クラブ)を優勝に導けるような選手になりたいです。

津路 稜也 (生名)

僕は小学校から高校まで野球を頑張ってきた。高校2年の時には県大会で優勝し、甲子園にも出場することもできた。

これからは、今まで培ってきた忍耐力や精神力を生かし、仕事を頑張っていきたい。プライベートも充実させていきたい。

19歳 次は20代

岡本 隆宏 (横瀬/東京在住)

29年間で学んだことは、体は壊れても復活するが、心が壊れると人はダメになる。

「自分を納得させる」自分自身のことは自分が一番分かっていないといけない。頑張らないように頑張ることも時には大事だ。

29歳 次は30代

林 康太 (横瀬)

違う仕事をしていましたが、家業に就かなければとの思いと、会社が人手不足になったタイミングで転職した。

地域に根ざした仕事なので、今まで積み上げてきた会社の雰囲気を損なう事なく、頑張っていきたい。

49歳 次は50代

向井 義治 (生名)

徳島市内で営業職として務めていたが、転職を考えていたときに地元の介護施設に求人がありUターン。

勝浦町には誰もが住みやすいまちづくりを進めて欲しい。住み続けたいと思う人が多くなるよう、自分なりに福祉活動を通じて貢献したい。

美馬 尚紀 (棚野)

婿として町外から美馬家に。はや10年の月日が経ち、勝浦町民の優しい心遣いを感じながら過ごしている。

これからの10年で更にたくさんの方との出会いを楽しみたい。

39歳 次は40代

藤木 千恵美 (今山/神奈川在住)

役場での仕事を通じて、地域の方々と一緒に新しいことにチャレンジできて、感謝の気持ちで一杯です。

座右の銘は「温故知新」。これからは、世代を問わず知識や学びを共有できる場所を作っていきたいです。

石田 早人 (石原)

長年、徳島駅伝に関わり、選手の頑張りを見てきた。育成スタッフの熱心な指導で、小中学生が活気ある練習を続けている。

この先、この子達が徳島駅伝で活躍し、全国や世界へ羽ばたいてくれたらと大きな期待を寄せている。

59歳 次は60代

平間 レオニーラ (中角)

子供たちが社会人になって、手が離れたと思いきや、孫の世話などあっという間の10年でした。

孫の世話も落ち着いたので、これからはダンスや旅行など趣味を満喫したいです。

倉坪 泰幸 (中山)

「待ったなしの少子高齢化」。10年に約1,000人が減少している。攻めの対策、総務、税、教育などは広域での事務事業の実施が必要では。

医療介護、農業振興、空き家対策など重点施策については、町職員の体制を強化するなど地域の特性を生かした行政運営を。

69歳 次は70代

松村 茂 (久国)

「幸せ貯金」。振り返ると退職後、早10年になるうとしている。今年初めてブランデーで梅酒作りに挑戦した。待ちきれず試飲するとこれが実に美味しい。

こうした日常のささやかな幸せを「心の貯金」としておおらかに暮らしたい。

谷内 敏文 (山田)

学生時代からギターを片手にたくさんの曲を歌ってきた。祭りやイベントでもバンド仲間とボランティア出演してきた。

祭りやイベントが消えていくことは、子ども達の貴重な経験、情操教育の場が失われてしまうので、できる限り避けたいものである。

89歳 次は90代

大久保 幸子 (今山)

お父さんが仕事に出ていたので、みかんや米作りをほぼ一人で、こなしていたので大変でした。

今は近くに子ども達がいる、みんなが大事にしてもらえるので、とても幸せです。孫やひ孫に会うのを一番の楽しみにしています。

90代 めざせ! 100歳

大久保 恒夫 (今山)

仕事を辞めてからは、妻が何でもしてくれて大事にしてくれているので、幸せ。

もうすぐ、ひ孫が9人になるので、楽しみにしている。子どもたちが元気に活躍してくれているのが何より。

79歳 次は80代

紺堂 マサ子 (沼江)

息子に無事、農業経営を引き継ぐことができ喜んでます。

これからは家庭菜園をしながら、できるだけ息子の手伝いをしていきたいです。今は、孫の成長が何よりの楽しみであり励みになっています。

マラソン

6月・7月

議会

6月議会

小松島との間における事務の委託について

小松島市が進める広域ごみ処理施設整備に関する事務について、勝浦町が小松島市に委託することを決定した。

新たに住民税非課税等となる世帯への給付金事業

1569万円

支給対象者が10000人だが、どのように想定したのか。

福祉課長 令和6年新たに非課税、また均等割りのみの世帯で、前回対象になった世帯を除いた。

マイナンバーカードと健康保険証の一体化に向けたシステム改修

令和6年12月2日以降、健康保険証の交付が廃止となる。マイナンバーカードを取得していない、または健康保険証を連携していない被保険者に資格確認の交付をおこなう。また、新規資格取得時や負担割



57%であった。これを基に割り出している。

農業用施設災害復旧事業

異常気象により被災した石原地区の農業用施設の復旧をおこなう事業。

471万円

恐竜骨格模型購入事業

勝浦町で発見された恐竜の骨格模型を購入。

250万円

勝浦町を恐竜の町としてPRするため、また、集客や教育



図書館の2階に展示中

コロナワクチン接種事業（勝浦病院）

勝浦病院で希望者に対して集団接種をおこなうための費用。

1473万円



大人気の発振体験 何が出るかな

効果を上げるために、どのように活用するのか。

教委局長 恐竜フェスティバルでの展示、化石講演会、町内小中学生の学習。実物大の骨格恐竜模型を実感していただき、観光客の増加による経済効果に結び付けたい。

合の変更時には資格情報のお知らせをする。

280万円

国保の保険証は、今年7月が有効期限であるが12月2日に廃止された後はどうなるのか。

税務課長 8月に最終の発行、有効期限は来年7月31日である。それまでは両方使うことができる。

資格確認証はどのようなものか。また交付方法は。

税務課長 現行の保険証のサイズとほぼ変わらない。内容についてもほぼ同じである。来年の7月に簡易書留で郵送する。

7月議会

救急活動体制の強化を図る救急車資機材リース事業

半自動除細動器と自動心臓マッサージシステムの更新。

79万円

公共土木施設災害復旧事業

令和5年、6年と立て続けに発生した、立川地区での災害の復旧工事費。

1430万円



異常気象により災害が頻発している

定期コロナワクチン接種事業

インフルエンザとコロナウイルスの同時流行に備え、コロナワクチン接種を実施する。

1410万円

接種見込み数1237人の根拠は。

福祉課長 今年3月末の65歳以上の人口が2171人で、昨年最後に接種した方が対象者の

一般会計予算 総額 42億 3707万円

補正予算（6月・7月） 主な内容	(万円)
定額減税補足給付金（調整給付）	3967
新たに住民税非課税等となる世帯への給付金事業	1569
公共土木施設災害復旧事業	1430
定期コロナワクチン接種事業	1410
農業用施設災害復旧事業	471
恐竜骨格模型購入事業	250
人事給与システムの改修（児童手当制度の拡充）	86
救急車資機材リース事業	79
人事給与システムの改修（定額減税）	60
予備費	1483

国民健康保険特別会計予算 総額 6億 4544万円

補正予算（6月） 主な内容	(万円)
マイナンバーカードと健康保険証の一体化に向けた対応	280

病院事業会計予算 総額 8億 4900万円

補正予算（7月） 主な内容	(万円)
コロナワクチン接種事業	1473

ようこそ!! 勝浦町へ
視察受入報告

- 6月26日 山形県大石田町議会 総務文教常任委員会
- 7月30日 兵庫県豊岡市 議会広報広聴特別委員会

2つの市町村議会委員会にお越しいただき、通年会期制、議会運営、議会だより編集などについて、意見交換をおこないました。



一般質問

内容① FTTH

光ファイバーケーブルを利用して各家庭に提供されている通信サービスのこと

内容② 帯域幅

インターネット等での、データの通り道の広さ



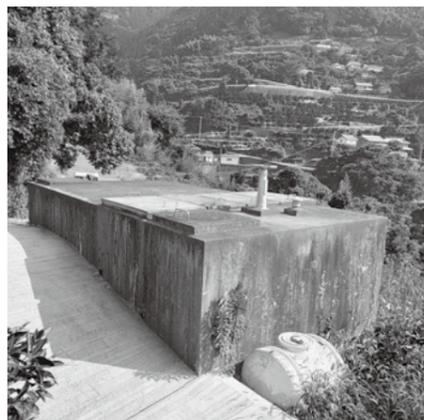
待ち遠しい新星谷橋建設予定地

災害時における指揮系統の充実強化について
 災害時の対応に重要な防災士の数、防災無線従事者とその養成計画はどうなっているか。また、防災監の任用はいつになるのか。

総務課長 町内防災士は97人、役場は14人。10月に5人養成講座に申し込みがある。最終的には職員全員の取得を考えている。防災無線従事者は役場3人、防災監は9月に任用の予定。

——今使われている防災行政無線システムの今後使用できる年数は。

総務課長 親局設備の修理部品の供給が令和9年3月までとなっていたため、更新の必要が出てくる。屋外拡声装置や個別受信機の故障については、新しい機器と交換している。



平成12年から稼働しているろ過装置

ろ過装置の更新の日程と費用はどうか。
 費用は2億円ほどかかる見込みだ。

FTTH①設備更新予定と現状の確認
 更新から9年経過。10年目の令和7年に設備更新契約の予定はあるか。

総務課長 サービス提供事業者と協議はしているが、令和7年度に契約更新を予定しているとは言えない。

——町全体の帯域幅②使用率は。

総務課長 平均使用率は50%程度で、ピーク時には100%になることがある。

——通信量増大に備えて帯域幅の確保が必要に思うがどうか。

総務課長 デジタル技術の進展に応じた通信設備が必要となる。現在の光ファイバーを利用するのであれば、帯域幅の拡大は理に適っているが費用はかかる。投資費用、個人負担、利用形態も含めた議論が必要だ。



大人気!家賃補助住宅

人口減少問題について
 町内に帰ってきたいが、住む場所がなく帰ってこれないという若者の声を聞く。賃貸住宅の現状は。

企交課長 集合住宅が8か所で58室、1戸建ては8戸ある。

——家賃補助制度の利用状況は。

企交課長 これまで33世帯に交付。補助対象経過3年後の定着率は75%。

——横瀬地区の宅地造成事業は。また次の候補地は。

建設課長 現在2戸分譲が完了。新たな候補地を申し上げる状況にはない。

——次の宅地造成事業に造成や販売などに民間の力を使えないか。

建設課長 現在の取引業者の意見も聞きながら可能かどうか検討していきたい。

一般質問

町政の“ここ”が聞きたい!

一般質問とは、議員個人が町長などの執行部に対して執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を求め、町が町民のために適切な町政運営を進めているかを確認する場。3月・7月・11月におこなっています。(議員名あみかけ項目は記事掲載あり)

防災・まちづくり	
星谷橋	玉置 花房 福井
防災	玉置 瀬戸 長尾
インターネット環境	内谷
水道設備	内谷
防犯対策	花房 美馬
消防常備化	花房
少子高齢化・人口減少	花房 瀬戸 長尾
婦人会	美馬
公共交通	瀬戸
教育・子育て	
タブレット	花房
体育館設備	井出
大阪万博	井出
学童保育	節
観光・にぎわい	
改善センター	美馬
音楽ライブ	長尾
農業振興	
漬物加工者への助成	井出
医療・福祉	
サニタリーボックス	井出
その他	
町民アンケート	内谷



たまおき まもる 議員
玉置 守

星谷橋架け替えについて 工事予算獲得の具体的な要請について

——工事費高騰が心配されるなか、星の岩屋、大宮八幡神社、星谷運動公園などへの利便性を考えてやりきっていただけか。

建設課長 資材費や労務費の上昇は考えられるが、国費や起債を要求していく。

——100年使わなければならない橋は、災害に強く安全で景観にも溶け込む憩いを感じ、勝浦町の財産の一つとして大いに誇れるものであってほしい。早期完成に向けた野上町長の決意をお聞かせいただきたい。

町長 スケジュール通り進むためには財源が必要であり、国交省に要請陳情にも上がる。



うちたに やすひろ 議員
内谷 安宏

ろ過設備更新はいつ? 荒天時の濁度把握を

——荒天時に水が濁ると聞く。水質検査の状況と結果はどうか。

水道課長 水質には問題ないが、坂本は濁度の数値が他地区より少し高い。原因はろ過装置の性能と考える。目視による毎日検査では、荒天時でも異常は出ていない。残留塩素濃度は基準値以上で滅菌されており、直ちに健康被害が出ることはないと考えられる。

——荒天時の濁度を把握しておくべきではないか。

水道課長 把握が必要だ。大雨後に検査を実施したい。

——ろ過装置の更新の日程と費用はどうか。

水道課長 令和8年以降に更新できるよ



はなふさ かついし 議員
花房 勝一

18億から45億に建設費増額 事業費増額で他の事業へ影響は

——当初の事業費18億円の設計は最深河床のルールは適応していなかったという事であるが、この設計はどのようにしてされたのか。また、設計費用はいくらかかったのか。

建設課長 平成30年に同規模の橋梁における工事費から算出したもので設計費用はかかっている。

——国費27・6億の説明を。

建設課長 国費は元々9・9億の見込みであったが17・7億の増となった。これは、補助対象事業に満額がついた場合である。3種類の国費があり平均して61%程度の補助率。

——この増額により他への影響は。

総務課長 現在着工している事業について、財政計画問題は無い。

動画で一般質問を見る

一般質問の全編を動画投稿サイトYouTubeにて閲覧いただけます。



<https://www.town.katsuura.lg.jp/gikai/chukei/>



婦人会の活動継続に町や区の助けを
負担を減らし区と同等の扱いを

議員 馬友子 婦人会は会員数の減少や休会支部が増えている。現状をどうとらえているのか、また、具体的な支援はある。

美馬 教委員長 根本的な解決策は難しいが、今後、活動を維持、発展させていくにはかなりの対策が必要。54万円の補助支援はある。

——日赤社費や社協の集金、愛育班と役が重なるなど負担が大きい。婦人会が集金している地区は。また、愛育班への補助は。

住民課長 婦人会が集金しているのは2地区。

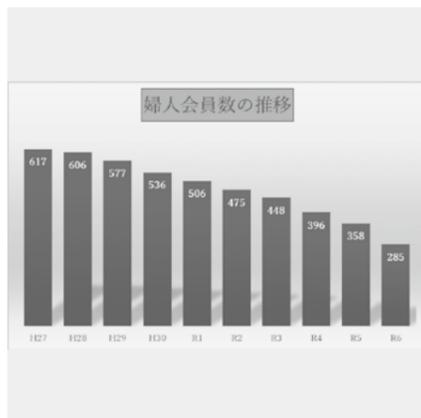
福祉課長 愛育班は5地区が女性の会員のみ。10地区は区民が会員である。愛育班への補助金は103万5000円。

——区の役員は統合補助金という手当はあるが婦人会はない。同等の扱いが必要ではないか。

総務課長 地区統合補助金は地区の運営、自治活動を支援することを目的に、全体で395万2000円を交付。区によりさまざまな使い方をしている。

——現状は厳しいが婦人会は会員数も多く行動力がある。地域貢献できているなどモチベーションも高い。女性の身近な声を聞いて欲しい。

町長 コミュニティとしての地区組織は大事。区長会で協議したり、婦人会でも考えてもらうなど協議する場や機会を作ることが必要と考えている。いつでも婦人会と意見交換したい。



10年で半分!



高齢化社会における対策
住民にとって更に使い便利が良

議員 瀬戸直 公共交通移動支援成実証実験の現状は。

総務課長 令和5年度は申請者29人で、利用枚数は160枚、助成総額は8万1600円。令和6年度4月から3カ月の利用状況は、申請者23人、利用枚数については44枚、助成総額は2万2440円。

——今後の予定は。

総務課長 1年間の利用状況等の分析、利用者へのアンケート調査をし課題を洗い出し、事業のブラッシュアップを図り、要綱等の確認をしながら令和7年度の実施に向け予算確保に努めたい。ある一定の需要があると思っている。

認知症対策について

——認知症対策の取り組みは。

福祉課長 パワーアップ教室は理学療法士により運動機能向上トレーニングを、いきいき元気教室は作業療法士による運動や紙ベースによる脳トレを、いきいき百歳体操は骨折予防など筋力づくりの運動を、脳若トレーニングはタブレットを使ったトレーニングや体操をおこなっている。スマホ教室は年3回おこなう予定である。音楽教室も6月開催時には23人参加。ニコニコ体操は8回おこなっている。

——効果はどうか。

福祉課長 募集するとすぐに予約がいっぱいになるので、みなさんの介護予防に対する意識の高さを感じている。ニーズ調査では、こういった介護が必要でなくなってきたことが数字上にも表れており、介護予防、予防教室が外出のきっかけになっている。

無料
シニアのための
スマホ教室

定員 10人
先着順です！
お申し込みください！

開催月	開催日時	内容
9月開催	9/7(木) 10:00~11:00	お申し込み受付・基本の操作
	9/12(水) 10:00~11:00	インターネット操作
	9/19(水) 10:00~11:30	カメラ操作
	9/26(水) 10:00~11:30	ファイルの取扱い 写真の取扱い
10月開催	10/7(木) 10:00~11:00	お申し込み受付・基本の操作
	10/10(日) 10:00~11:00	インターネット操作
	10/17(日) 10:00~11:30	カメラ操作
	10/24(日) 10:00~11:30	写真の取扱い ファイルの取扱い

大人気のスマホ教室。定員10人は少ないのでは?



ここに電源が欲しいなあ

若者が集える音楽ライブの場の提供

——現在町内で音楽活動をしている方が、弾き語りを含め30グループ以上ある。しかし、ちょっと披露できるライブ場所がない。人形文化交流館、道の駅、改善センター、星谷運動公園などで開催できるようなところかしていただけないかとの要望があった。特に星谷運動公園へコイン式の電源設置をお願いしたい。町からの応援策はないか。

教委員長 公園に設置できるものは、いざという時に撤去できるものに限られている。常設電源の設置は難しい。今年度、音活事業に取り組んでおり、可能な支援を協議したい。



町長からのトップセールスを
土地を提供し隣接市企業に

議員 長尾隆資 昭和50年の町の町の人口は8328人。平成26年は5716人。人口減少のカーブは非常に大きくなっている。移住、定住、交流人口増へのアクションを起こす時期である。10年後、本町の人口予想は3600人。隣接市企業に社宅、寮の土地を賃貸借で提供し、企業に建築を依頼したらどうか。また、移住定住を促進するために町長からのトップセールスを働きかけたらどうか。

町長 新築補助金や家賃助成など、若い世代がなるべく安く暮らしやすいようになるよう体制をとってきた。空き家バンクも開設し、空き家に住みたい方への提供をしている。大企業の社宅等については、企業側に計画が必要であれば、私が出向いてできるだけ早く提供できるように体制を整えたい。

動画で一般質問を見る

一般質問の全編を動画投稿サイトYouTubeにて閲覧いただけます。
<https://www.town.katsuura.lg.jp/gikai/chukei/>



議会広報バックナンバー

過去に発行した勝浦町議会広報をインターネットで閲覧することができます。
<https://www.town.katsuura.lg.jp/gikai/dayori/>



福井 ①起債

債券を発行すること



町民への説明会を

な起債①をする。現在のところ計画通りで大丈夫だと認識している。

——小松島市との広域ごみ処理施設、防災公園の整備などの事業推進に影響はないのか。

総務課長 まだ設計や基本構想の段階であり、具体的な数字は盛り込まれていない。財政課長として現在進めている事業については、5年間の普通建設事業計画の中では、予算上問題はないと認識している。減債基金3億8000万円、財政調整基金も26億円相当貯めている。病院改築基金が2億2000万円残っており、それらの財源も充てながら事業を進めていく。

——防災公園の完成は何年後か。

総務課長 令和10年と町長から指示されている。



怖いメタンガス爆発

——この補助制度を、漬物加工所設置に使えないのか。

町長 農振課、JA、県農業支援センターで構成する農業振興推進班で検討する。

大阪万博への学校の参加はどうするのか

——会場の夢洲は、ごみ最終処分場であった。3月にメタンガス爆発で床など100mを損傷する事故が発生。トイレの数が足りないなどのさまざまな不安要素があると聞くが大丈夫なのか。上勝は参加しないとのことであるが、勝浦はどうか。

教育長 学校行事は何より安全性が大事である。しっかりと調査検討したい。5月の調査では、生比奈小学校、横瀬小学校とも参加は希望しない。勝浦中学校は、検討中とのことであった。児童生徒の安全はしっかり守っていききたい。



もっとパンフレットを活用したらどうか

いつ、どのようなものができ上がったのか知らない方がいる。事業者にも配布し、営業活動に使えるようにしてはどうか。

企交課長 町外からの来庁者やふるさと会などで配布しているが、事業者にも提供したい。

たけのこクラブの運営は以前通り

——横瀬小学校区に開設されている学童保育「たけのこクラブ」は保護者会主体での運営から、昨年8月より和田島福祉会に委託先が変わった。4月までに、支援員の資格を取得してもらったことになってしたが、現状は。また、利用料金の変更と経営状況は。

福祉課長 新しく7人の方が資格取得されている。利用料金は従来通りで、昨年8月から今年3月までの経営は黒字になっている。

福井 裕美 議員



星谷橋掛け替え事業
財政は大丈夫か
住民説明会の開催を

——工事費が高いと思うが安くできないのか。

建設課長 工事費については、さまざまな工法を検討し積み上げた工事費ということで、ご理解を願いたい。

——関係地区の役員向けには説明会はおこなったが、早く住民を安心させてあげたいので、全町民へ向けたい。

町長 順序を踏んで、時期を見て説明会の開催はしてもいいと思っている。

——新たに借金をすることで、住民の負担がとも気がかりだ。子や孫に負担は残らないか心配だ。

総務課長 ある一定の条件のもと、有利

井出 美智子 議員



漬物加工所設置助成は
どうするのか
「地域産物利用促進事業」適用を

——よってネ市の漬物出荷者だった人から「漬物加工所設置へ補助は出ないのか」と聞かれた。3月議会では、「出荷者だった人へのアンケートを取る」とのことであったがどうなっているのか。

農振課長 来年度予算に反映させるために、10月頃にアンケートを取る予定。

——今年の6月から出荷できなくなっているのに、対応が遅すぎるのではないか。また、これも3月議会である制度の町単独補助金制度の「地域産物利用促進事業」はこれまで、オレンジファクトリー利用者に限るというしばりを外すべきだと質問したが、今はどうか。

農振課長 現在は外している。

とみ 公一 議員



「阿波かつらうブランド化
事業」の取り組み
効果の検証を

——この事業には、令和3年度から6年度までに約5000万円の予算が投入されている。商店街の空き店舗活用や活性化を図る事業について、専門家から有意義な提言はあったのか。

企交課長 空き店舗は、居住スペースと一体となっていて貸出しが容易でなく、有効な利用策は出なかった。

——新商品の開発や販路が拡大された事例は。

企交課長 個別相談の結果、7事業者で14品目の新商品が開発され、パッケージの刷新で大口取引につながった事例が報告されている。

——事業者と商品を紹介するパンフレットが作成されたが、事業者の中には、

動画で一般質問を見る

一般質問の全編を動画投稿サイトYouTubeにて閲覧いただけます。



<https://www.town.katsuura.lg.jp/gikai/chukei/>

議会広報バックナンバー

過去に発行した勝浦町議会広報をインターネットで閲覧することができます。



<https://www.town.katsuura.lg.jp/gikai/dayori/>

ふっちゃけどうなの？議会広報



4月26日に役場3階の議場に集まっていただきモニター会議を開催しました。広報に対する意見や感想をいただきましたので、今後の誌面づくりに生かしていきます。

町広報と同時期ではなく
半月くらいずらしたらどうだろうか

町民が多く掲載されていたら
とりあえず家族は見る

文章が長いと読まないが、
議会広報は簡潔な文章でわかりやすい。

親子で読めるコーナーがあってもいいと思う

議会に興味がなくとも、
表紙・裏表紙などの特集ついでに他の記事を読んでいたなら
議題がわかるようになるのかな

一般質問が短縮されたのは残念
誌面はすっきりした

コンクールで7位とか関係ない
住民が理解できる
わかりやすい広報紙を作ってほしい

一般質問の掲載面を減らしたら
町民は議員の活動の場を見られない

町民、各地区の写真、時期時々の
イベントや特産物はどうだろう



楽やなあ

井出 美智子

38度、40度と体温を超える気温は、まさしく地球沸騰。熱帯化する気候変動に対応するみかん作りが重要になっていきます。我が家は、この夏ドローン消毒を何回か実施しましたが、まだまだ高価です。肥料散布も短時間で済ませられるので、ドローンがもっと安価で作業精度が上がれば、高齢になってもみかんを作り続けることができそうです。年をとっても楽しく働く姿を見れば、後継者も増えるのではないかと期待しています。愛媛では委託散布への補助金支援も実現しているので、ぜひ勝浦でも実施してほしいです。

編集後記



あなたの声を、町に届けるために
婦人会とキャッチボール

町内で活動している団体等と意見交換をおこない、
情報の共有を図り課題などを町に提言するための懇話会

婦人会活動の現状とこれからについて

なり手不足による作業負担増など、活動継続の課題が多い

6月10日に婦人会の本部役員、各地区の役員20人と「婦人会活動の現状とこれからについて」意見交換をおこなった。会議ではさまざまな意見が出され、休会中の地域や「なり手不足」により活動が難しくなっている地域から切実な思いが多く語られた。

主な意見

- 会員のなり手不足
- 会員数が少なく役がすぐまわってくる
- 日赤社費等の集金など、仕事が多く負担が大きい
- 支部長手当てがない

この時に出席された多くの意見を集約した上で、7月若あゆ会議で美馬議員が一般質問をした。(8ページを参照)
野上町長からは「いつでも都合が合えば」と意見交換会に前向きな答弁があった。議会としても引き続き情報共有していきたい。

議長コラム 勝浦 想生

スポーツの祭典としてパリオリンピックが開催され、日本代表チーム、選手が多くのメダルを獲得しました。結果が振るわなくても、正々堂々と競技する姿はテレビ画面越しに観戦する私たちにも感動や勇気を与えてくれます。現在、開催されているパリオリンピックでも日本勢の活躍を期待しています。



勝浦町出身のアスリートも負けていません。この夏、インターハイの重量挙げに徳島科学技術高校3年の久米大和さん、夏の甲子園大に活躍を期待しています。

会に鳴門渦潮高校2年の倉橋徠斗さん、全日本少年少女空手道選手権大会には横瀬小学校1年の大亀ころろさんが出場し、全国の舞台で活躍されました。

スポーツが与えてくれる成長や感動、運動による健康づくりなど、多くの効果が期待されます。また、自然豊かな勝浦町で取り組めるアウトドアスポーツも数知れず。今後も地域活性化や健康的なまちづくりに必要不可欠な要素として、強力にバックアップできるように活動していきたいです。

KATSUURA

地域のホシ ギンバる人

GAMB★ROUS

かつらガンバロウス



たけいち かずひこ
武市 和彦
 1953年生 徳島市出身
 徳島・東京の医療生協を定年退職後、66歳から「高齢者の人権を守る会」で活動。

その活動実践として、住んでいた文京区でボランティアとして、フレイルサポーター、ぶんぶく屋上養蜂部、こども食堂の活動に参加。70歳で勝浦町に移住し沼江で体験型民泊施設ぶんぶく @katsuura を開設。養蜂、農業、遊び体験を通じて「つながり・まちづくり」をめざしています。

地域でガンバる人（地域のホシ）は、活動こそのおの各々ですが、「地域を盛り上げる」というアツい想いは共通。そんな共通の想いを持つ人はみんな「かつらガンバロウス」の一員です。

★ガンバリポイント

健康で長生きの秘訣の一つに社会とのつながりが大切だと言われています。ぶんぶく @katsuura の運営方針は楽しく活動することを大切にしています。



ぶんぶく @katsuura

利用者に勝浦町の豊かな自然を体験していただき、参加者どうしのつながり、参加者と町の方との交流を通じて子ども達から高齢者までが健康で長生きの輪を拡げる活動を進めていくことをめざしています。

★これからガンバること

養蜂や農作業の知識の習得と実践をし、いろんな体験プログラムの開発をしたい。町内の団体と連携し、それぞれの施設の利用者を増やしたい。



また、今年5月に国連本部で開催された、第14回高齢化に関する作業部会に日本のNGOの代表として参加。「つながり」を大切に、「健康で長生き」できるまちづくりに、少しでも役立つよう、自身の健康にも注意しながら、楽しく活動を進めていきたいと考えています。

仲間のエール 応援する人の声

武市さんが、東京から勝浦に移住してくれて早くも1年半。昨年は古民家改修と養蜂。今年はピザ窯も作って、ピザを焼く予定。そのための野菜作り、小麦作りと着々と活動を広げています。はちみつ絞りや昭和30年代の食体験などぶんぶく @katsuura は楽しいと大好評。ボランティア大募集しているので連絡してあげてください。

表紙写真募集!

議会広報委員会では、みなさまからの表紙写真を募集しております。テーマは「町民の笑顔」！詳細は下記 URL または QR コードをチェック！

<https://formok.com/f/1chm9gnl/>



今回の表紙は、8月上旬に生比奈小学校のプールに伺いました。

プールサイドにうっかり裸足で上がると火傷しそうでした。浅いプールは保育所の子ども達、大きいプールは小学生たちと、たくさんの歓声があがり楽しそうでした。

表紙探訪

今号の表紙はこんな人

